

南アメリカ・オセアニア 州

名前

- 問1 南アメリカのブラジルにおいて、地平線まで続くような広大な農地で、複数の大型コンバインを同時に稼働させて行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 熱帯雨林を焼き払ったあとの土地で、数年ごとに移動しながら行う方式 | 2. 大型の農業機械を導入し、大豆などを効率よく大量に生産する方式 | 3. 標高の高い傾斜地を切り開き、手作業で段々畑をつくって栽培する方式 | 4. 家族を中心とした労働力により、限られた土地で多種類の作物を育てる方式 |
|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 世界の国々における発電電力量の構成比において、火力が27.7%、原子力が2.6%、水力が68.6%となっており、水力発電が全体の約7割近くを占める特徴を持つ国はどこですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-------|---------|
| 1. サウジアラビア | 2. フランス | 3. 中国 | 4. ブラジル |
|------------|---------|-------|---------|
- 問3 オーストラリア大陸に位置し、世界遺産にも登録されている「ウルル（エアーズロック）」と、その周辺地域の歴史的・文化的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 先住民であるアボリジニが聖地として大切にしてきた場所であり、現在はその文化的価値も認められ、世界遺産に登録されている。 | 2. ヨーロッパからの移民が大陸開拓の拠点として建設した城塞であり、現在はオーストラリアの歴史を伝える博物館となっている。 | 3. 先住民であるマオリが自然崇拝の対象として守ってきた場所であり、現在はニュージーランド最大の観光地となっている。 | 4. 乾燥帯の厳しい環境に適応した先住民が、地下に居住空間を作るために掘り進めた巨大な洞窟群である。 |
|--|---|--|--|
- 問4 南アメリカ南部のアルゼンチンにおいて、西側にそびえる高い山脈を背景とした広大な平原で肉牛の放牧が行われている理由について、土地の条件に着目して説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. パンパと呼ばれる平坦な温帯草原が広がっており、牛の飼育に必要な広い面積を確保しやすいため | 2. 年間を通じて高温多湿な熱帯雨林気候であり、牧草が1年中絶え間なく自生し続けるため | 3. 急峻な山岳地帯の地形を活かすことで、外敵から牛を守りながら効率的に管理できるため | 4. 地中海性気候に属しており、夏季の乾燥に強い家畜として牛が最も適しているため |
|---|---|---|--|
- 問5 南アメリカのペルー中部における土地利用の様子をまとめた資料において、標高0～1000m付近ではかんきつ類、2000～3000m付近ではとうもろこしが栽培されています。このとき、さらに標高が高い3000～4000m付近で主に栽培されている作物として正しいものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|----------|
| 1. いも類 | 2. コーヒー | 3. カカオ | 4. さとうきび |
|--------|---------|--------|----------|
- 問6 オーストラリアの農用地面積は約371万平方キロメートルであり、そのうちの約325万平方キロメートルが牧場・牧草地として利用されています。このように、農用地のほとんどが放牧のための土地として活用されている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 年間を通じて降水量が極めて多く、土地が湿潤すぎて穀物などの耕作が物理的に不可能であるため | 2. 人口密度が非常に高いため、狭い土地で効率よく食料を生産できる集約的な畜産業を重視しているため | 3. 乾燥した広大な内陸部において、農作物の栽培よりも、家畜を大範囲に放す大規模な放牧が適しているため | 4. 伝統的に焼畑農業が主流であり、森林を焼き払った後の土地をすべて牧草地として再利用する制度があるため |
|---|---|---|--|
- 問7 アンデス山脈において、標高が高くなるにつれて栽培される作物が変化する「垂直的な土地利用」が行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 標高が高くなるほど降水量が増加し、高地ほど多湿な環境を好む作物が選ばれるため | 2. 高地では日照時間が極端に長くなり、強い光を必要とする熱帯作物の栽培に適しているため | 3. 標高が高くなるほど気温が低下し、それぞれの高度の気温に適した作物が選ばれるため | 4. 低地は海岸砂漠で農業が不可能なため、全ての農作物を酸素の薄い高地で栽培するため |
|---|--|--|--|
- 問8 南アメリカ大陸の地形断面の特徴と、それに関連する地理的な状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大陸の西側にブラジル高原が位置するため、西側の標高が極めて高く、東側に向かうにつれて標高が低くなる。 | 2. 大陸の中央部に巨大な山脈が位置するため、中央の標高が最も高く、東西の両端に向かうにつれて標高が低くなる。 | 3. 大陸の西側にアンデス山脈が位置するため、西側の標高が極めて高く、東側に向かうにつれて標高が低くなる。 | 4. 大陸の東側にアンデス山脈が位置するため、東側の標高が極めて高く、西側に向かうにつれて標高が低くなる。 |
|---|---|---|---|
- 問9 南アメリカ大陸のアマゾン川流域に位置する地点の統計において、年平均気温が27.5度と極めて高く、降水量が最も多い月には400mmを超え、年間を通じて非常に多い降水量を示す気候帯を何というか、名称として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|
| 1. 夏が短く冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯） | 2. 一年中気温が高く降水量が多い熱帯 | 3. 降水量が極めて少なく乾燥している乾燥帯 | 4. 季節による気温の変化がはっきりしている温帯 |
|---------------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|
- 問10 オーストラリアやニュージーランドなどの国旗の一部には、あるヨーロッパの国の国旗の意匠が含まれています。これらの国々がかつて植民地支配を受けていた背景を持つ、そのヨーロッパの国として正しいものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. スペイン | 2. イギリス | 3. フランス | 4. ポルトガル |
|---------|---------|---------|----------|
- 問11 オーストラリアの20世紀後半から現在にかけての社会や貿易の変化を述べた説明文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 白豪主義の撤廃によってアフリカからの移民が最も多くなり、主要な貿易相手国も南米諸国に変化した。 | 2. 1970年代以降もヨーロッパからの移民が増加し続け、貿易相手国においてもイギリスの割合が最も高くなった。 | 3. ヨーロッパからの移民は激減したが、貿易相手国としては現在もアメリカやイギリスなどの欧米諸国が大部分を占めている。 | 4. 1970年代以降の政策転換により、アジアからの移民が増加し、貿易相手国においてもアジア諸国の割合が高くなった。 |
|--|---|---|--|
- 問12 世界の主要国を比較した資料において、国土面積が約852万km²であり、鉄鉱石の生産量が世界全体の34.7%という高いシェアを占めていると説明される国として、正しいものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. インド | 2. ブラジル | 3. ロシア | 4. オーストラリア |
|--------|---------|--------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大型の農業機械を導入し、大豆などを効率よく大量に生産する方式	ブラジルでは、広大で平坦な土地を活かし、企業的な経営による大規模な農業が行われています。特に大豆の生産においては、大型のトラクターやコンバインなどの機械を導入することで、少ない人数で効率的に大量収穫することが可能となっており、世界有数の輸出量を誇っています。
問2	答え 4 ブラジル	南アメリカに位置するブラジルは、アマゾン川などの豊かな水資源と、熱帯地域特有の豊富な降水量に恵まれているため、水力発電が電力供給の主軸となっています。これに対し、フランスは原子力の割合が非常に高く、サウジアラビアは火力発電がほぼ100%を占め、中国は火力（石炭）の割合が最も高いという特徴があります。
問3	答え 1 先住民であるアボリジニが聖地として大切にしてきた場所であり、現在はその文化的価値も認められ、世界遺産に登録されている。	ウルルはオーストラリアの先住民アボリジニの聖地であり、単なる自然地形としての価値だけでなく、先住民の伝統文化との深い関わりが評価され、世界遺産（複合遺産）として登録されています。マオリはニュージーランドの先住民であるため、オーストラリアの事例としては不適切です。
問4	答え 1 パンパと呼ばれる平坦な温帯草原が広がっており、牛の飼育に必要な広い面積を確保しやすいため	アルゼンチンの畜産業の背景には、パンパという大規模な平原の存在があります。この地域は遮るもののない平坦な地形が続いており、低コストで大量の肉牛を飼育する「大規模放牧」に適しています。アンデス山脈からの地理的条件や温帯という気候条件が、世界有数の畜産地帯を作り上げる要因となりました。
問5	答え 1 いも類	アンデス山脈の標高3000mを超える高地は、気温が低く冷涼な気候であるため、低温に強いいも類（ジャガイモなど）が主な栽培作物となります。選択肢にあるカカオやさとうきびは、より気温が高い低地での栽培に適した作物です。このように高度に応じて栽培する作物を変えることで、厳しい環境下でも食料を確保しています。
問6	答え 3 乾燥した広大な内陸部において、農作物の栽培よりも、家畜を広範囲に放す大規模な放牧が適しているため	オーストラリアの内陸部は降水量が少なく、集約的な農業や穀物栽培に適さない乾燥帯や半乾燥帯の地域が広がっています。そのため、広大な土地に家畜を放し飼いにする大規模な放牧が行われており、農用地における牧場・牧草地の割合が日本などの他国に比べて圧倒的に高くなっています。
問7	答え 3 標高が高くなるほど気温が低下し、それぞれの高度の気温に適した作物が選ばれるため	標高が100m上がるごとに気温は約0.6度下がるため、高低差の激しいアンデス山脈では、高度によって気候が大きく異なります。住民は、それぞれの標高（気温）に合わせて、低地では熱帯作物、中腹ではとうもろこし、寒さの厳しい高地ではいも類を栽培するなど、自然環境に適合した工夫を行っています。
問8	答え 3 大陸の西側にアンデス山脈が位置するため、西側の標高が極めて高く、東側に向かうにつれて標高が低くなる。	南アメリカ大陸は、プレートの境界に近い大陸西縁部にアンデス山脈という高く険しい山脈が形成されています。これに対し、大陸の中部から東部にかけてはアマゾン低地やブラジル高原といった標高の比較的低い地形が続いています。したがって、西から東への標高の変化を捉えると、西側が非常に高く、東側に向かってなだらかに低くなっていく構造をしています。
問9	答え 2 一年中気温が高く降水量が多い熱帯	赤道周辺の低緯度地域に位置するアマゾン川流域は、一年中太陽の光を強く受けるため気温が高く、上昇気流が発生しやすいことから多量の雨が降ります。雨温図において、月平均気温が常に18度を上回り、なおかつ年間を通して降水量が豊富であるという特徴は、熱帯特有のものです。
問10	答え 2 イギリス	オセアニアの多くの地域は、18世紀後半以降にヨーロッパ諸国によって探検・植民地化されました。特にオーストラリアやニュージーランドはイギリスによる支配が強く、その名残として現在も自国の国旗の左上にイギリスの国旗（ユニオンジャック）を取り入れています。これはフランスやスペインによる植民地支配を受けた地域とは異なる特徴です。
問11	答え 4 1970年代以降の政策転換により、アジアからの移民が増加し、貿易相手国においてもアジア諸国の割合が高くなった。	オーストラリアでは1970年代に白豪主義が撤廃された結果、ヨーロッパ系中心からアジアからの移民が増加する変化が見られました。また、かつては旧宗主国であるイギリスとの貿易が中心でしたが、現在では地理的に近い中国や日本などのアジア諸国が主要な貿易相手国となっています。
問12	答え 2 ブラジル	約852万km ² という面積は世界第5位の広さであり、南アメリカ大陸のブラジルに該当します。ブラジルは鉄鉱石の主要な産出地として知られ、世界全体の約3分の1という極めて高い生産割合を占めています。ロシアは面積が約1700万km ² とさらに大きく、インドは約329万km ² とブラジルに比べて面積が小さいため、これらの数値データはブラジルの国力を象徴するものといえます。